

えとこだより



ここにあるすべてを、
かけがえのない「宝もん」へ。

「五十島の船着場と持倉銅山のコーレンボウ(※背広を着た初老の男性が持倉銅山を経営した小出淳太氏)」(阿賀町五十島・明治末期～大正初期)

もくじ ●

特集1 地域再発見講座(第17・18回)	2
・昔の写真と見比べながら現地を巡る	
阿賀野川上流域の近代産業ツーリズム	
特集2 平成28年度パネル巡回展	4
・阿賀野川上流域を巡る近代産業の変遷	
・明治大正昭和・近代日本をたどる光と影の縮図	
阿賀野川流域イベント情報紹介	6
・持倉銅山史料展覧会 阿賀野川ター体験ほか	
インフォメーション	8

阿賀野川上流域の近代産業遺産を通じた「もやい直し」を

今号で紹介する地域再発見講座及びパネル巡回展は、ここ1～2年の間に草倉銅山・持倉銅山・昭和電工などに関する貴重な史料が、流域内外の様々な方々の尽力によって相次いで発掘されたことから、流域住民の関心が高い「阿賀野川上流域の近代産業を巡る光と影」というテーマで開催することとなりました。

実は、阿賀野川上流域における近代産業の歴史こそ「明治期の鉱山(と鉱害) ↓ 大正期の水力発電(と環境負荷) ↓ 昭和の高度成長期(と四大公害)」という近代日本が辿った光と影の縮図そのものであり、こうした切り口の理解が近代産業遺産を未来の世代へ伝達すべき「阿賀の宝もん」へと深化させます。

今回のイベントではこれまでのFM事業(※)では初めて、地元自治体である阿賀町及び阿賀町教育委員会と共同して主催します。阿賀町では折しも、これら近代産業遺産を文化的・歴史的な観光資源や様々な教訓を学べる環境教育の教材として活用しようと注力しており、今回の協働取組へと至りました。FM事業では今後も、地元の自治体や企業、住民団体などと積極的な協働取組を推進し、流域の「もやい直し」を図ります。

※FM 事業とは「阿賀野川えとこだプロジェクト」のこと。詳細はP. 8参照。

阿賀野川上流域で栄えた近代産業遺産の意義を未来へ伝えるために

この情報誌は環境省の補助を受けて新潟県が発行しています。

環境と人間のふれあい館が
キッズクラブをはじめます!

★対象は小学生以下の児童★

環境と人間のふれあい館キッズクラブでは、子どもたちがふれあい館に親しんで、楽しみながら環境の大切さにふれることをめざします。オリジナル会員証や缶バッジのプレゼント、ふれあい館のおしごとをプチ体験できるプログラムなどをご用意します!

内容特典

① 当館のかわいい Mascot が入った会員証をさしあげます。② 工作教室などのイベント情報を送ります。③ お好みのオリジナル缶バッジをさしあげます(※1人1個まで/自作の写真やキャラクターの中から選べます)。④ 「ふれあい館おしごとプチ体験」に参加できます(※5m 大水槽へのえさやり・巨大ブラインドオープンほか)。⑤ 誕生月にはバースデーカードを送ります。

入会方法の詳細は、ふれあい館のホームページをご覧ください。上記お問合せ先までご連絡ください!

県立環境と人間のふれあい館
- 新潟水俣病資料館 -

住所 新潟市北区前新田新々団乙 364-7
(福島湯のほとり、「ビュー福島湯」の隣です)
TEL 025-387-1450 / FAX 025-387-1451
メール fureai@abeam.ocn.ne.jp
ホームページ URL http://www.fureaikan.net/

お問合せ

ツイッターはじめました! @freai9
ふれあい館の情報をつぶやきますので、もしよろしければフォローしてください!



▲▼第17回表彰式の様子 写真(上)撮影:小原王明氏



第18回 新潟水俣環境賞作文コンクール の作品を募集します!

新潟水俣病や新潟県内の自然について思ったこと、身の回りの環境について考えたことや体験して感じたことなどを書いてください。皆さんの応募をおまちしています。

- 例えば、「新潟水俣病」「住んでいる地域の環境」「新潟の自然(森林・川・湖沼・海と環境問題)」「総合学習等で取り組んでいる環境問題」「水の安全、食の安全」について、体験したことや気づいたこと、考えたことを書いてください。
- 作文の応募はA4版400字詰め原稿用紙で、小学校1・2年生は600字～800字、小学校3・4年生は800字～1000字、小学校5・6年生は1000字～1200字、中学校1・2・3年生は1200字～1600字です。
- 優秀賞者には表彰状と図書カード1万円分を贈ります。佳作者には表彰状と図書カード3千円分を贈ります。
- 応募していただいた方全員に参加賞を贈呈します。

お問合せ先 ●新潟水俣病被害者の会 TEL025-281-2466 / FAX025-281-8101
(作文の送付先 ●〒950-0965 新潟市中央区新光町 6-2 勤労福祉会館 3 階 新潟水俣病被害者の会)

「阿賀野川えとこだプロジェクト」とは?

正式には「阿賀野川流域地域フィールドミュージアム事業」(通称FM事業)と言い、阿賀野川流域の各地域が今も続く新潟水俣病と向き合い、それを乗り越えるような「人と人の絆」や「人と自然の関係」を紡ぎ直すため、流域の住民・行政・民間団体が手を取り合い、「新しい地域づくり」を目指して始まったプロジェクトです。

阿賀野川えとこだ! 憲章(事業理念)

私たちは新潟水俣病に学び教訓を伝承することで、負の遺産から新たな価値を創造していくことを目指します。阿賀野川流域の宝物を広く内外に発信しながら、公害により失われた人と人、人と自然、人と社会の絆をつむぎ直していきます。地域を愛する人が地域の未来をつくる「流域自治」の確立へ向けて行動します。

(阿賀野川流域地域フィールドミュージアム事業推進委員会)

編集後記

第20号はいかがでしたでしょうか?
昔の写真などの貴重な史料を、あがのかわ環境学舎へ飛び込みで持ち込まれる方々が、ここ2～3年で増えています。FM事業の取組成果が阿賀野川流域内外の人々に少しずつ浸透してきた証かもしれませんが、いずれにせよこうした史料提供のおかげで、今回の地域再発見講座の企画も成立させることができました。

今回講座のもう一つの特徴は、流域自治体の一つである阿賀町(&阿賀町教育委員会)と初めて共同開催ができた点です。こうした流域の自治体や企業とのコラボ企画は、今後も増えていく予定ですので、次号(1月予定)もお楽しみに!

阿賀野川えとこだより 第20号

発行:新潟県(※環境省補助事業) 発行日:2016年9月30日
企画編集:一般社団法人あがのかわ環境学舎(〒959-2221 阿賀野市保田 3866-1)

TEL.&FAX.0250-68-5424
aganogawa@niigata.email.ne.jp

阿賀野川えとこだ!流域通信

http://www.aganogawa.info/

アクセス増加中!



第18回 **持倉銅山・鹿瀬ダム・昭和電工**
10/30(日) 集合・解散 道の駅「阿賀の里」駐車場
 9:40 ~ 16:00 定員●40名 参加費●1,000円

「銅山の盛衰」から「電気化学の躍進と顛末」までを辿る

▼「持倉銅山創業者・小田淳太氏」
AM 持倉銅山の史料展覧会
 まずは持倉銅山の麓にある五十島地区に赴き、近年数多く収集された持倉銅山や創業者に関連する貴重な史料の数々を、特別ガイドの解説付きで展覧します。

AM 石灰岩の原石山近くへ
 昭和電工株鹿瀬工場の製品原料は阿賀野川の小花地や大牧近くから採掘される石灰岩でした。当日は原石山近くへ赴き、貴重な写真をもとに当時の様子を振り返ります。

豪華な粗食「秋糍 aki-kouji」
 新潟市の「惣菜ダイニング雉や」さんが、阿賀町の伝統食である糍や味噌を活かした珠玉の9品弁当を提供します。全品に「山崎糍屋」製品使用！

PM 鹿瀬ダム内の視察へ
 完成当初は鹿瀬工場に電力を提供し、阿賀野川上流域における電気化学の発展を支えました。当日は東北電力株の案内で、鹿瀬ダム内部を視察できます。

PM 鹿瀬工場の歴史を辿る
 昭和電工株鹿瀬工場の盛衰と企業城下町・鹿瀬が辿った光と影の歴史を、昔の貴重な写真の数々と共に様々な現地スポットを巡って振り返ります。

オプションプログラム 持倉探索プログラム
 ※30日(日)講座の参加者40名のみ、本プログラムにも参加可能です。
11月5日(土) 午前の部(20名)9:00~11:30 午後の部(20名)13:00~15:30
 ※雨天時は翌11/6に順延
プログラム代●1,500円／集合●道の駅みかわ
 ※持倉銅山の産業遺構へは徒歩で片道30~40分かかりますので、なるべく体力に自信のある方のみお申し込みください。また、途中に小川があり、歩いて渡る必要がありますので、長靴などが必要です。

参加申込書 阿賀野川 えとこだ プロジェクト × 阿賀野川 エコ ミュージアム

フリガナ お名前					ご住所					
電話番号	※当日連絡が取れる携帯電話番号優先				29日(土) 希望に○	参加する	30日(日) 希望に○	参加する	30日(日) 参加者のみ選択可 持倉 11/5	午前参加 午後参加 どちらでも

お問合せ・お申込み先 一般社団法人 あがのがわ 環境学舎 TEL&FAX 0250-68-5424 〓 aganogawa@niigata.email.ne.jp

第17回 **草倉銅山・足尾銅山(講演会)**
10/29(土) 集合・解散 阿賀町公民館(鹿瀬支所隣)
 10:30 ~ 15:30 定員●40名 参加費●1,000円

草倉から足尾へ連なる「日本近代化の光と影」を読み解く

AM 講演会「足尾銅山の光と影」
 NPO法人足尾歴史館副理事長 小野崎敏氏
 昨年足尾にて発見された草倉銅山の貴重な写真は、古河財閥の専属写真家だった小野崎一徳氏の孫・小野崎敏さんがご提供くださいました。
 足尾の不振を支えた草倉銅山と足尾銅山から花開いた日本の近代化。当日は、現在の技術大国・日本の先鞭をつけ、日本の近代産業史に大きな光と影を残した足尾銅山について、小野崎敏さんからご講演いただきます。

豪華な粗食「秋のイザベラ・バード」
 阿賀野川の秋鮭をメインに、イザベラ・バードが秋に阿賀町を訪れたら食したであろう食材をふんだんに盛り込んだ豪華弁当を、農家カフェお茶の間久太郎さんが提供します！

PM 昔の写真と現地を見比べる「草倉銅山追体験プログラム」
 新たに発見された草倉銅山の写真群は、阿賀町役場鹿瀬支所職員の調査によって撮影場所が同定されました。当日は判明した数箇所の撮影スポットを特別ガイドの案内で巡り、当時の写真と現在の様子を見比べて往時に思いを馳せる「追体験プログラム」を実施します。

申込方法
 ●下記必要事項をご記入の上、FAX・メール・電話にて下記宛先までお申し込みください。【申込期限:10月20日(木)17時】
 ●参加者を抽選にて決定し、当落結果のお知らせは申し込まれた方全員に宛てて、10月21日(金)に郵送します(※申込者へ結果が到達するのは翌日以降となります)。

特集 1

昔の写真と見比べながら現地を巡る

阿賀野川上流域の近代産業ツーリズム

バス 鉱山・水力発電・電気化学がもたらした光と影

阿賀野川 えとこだ プロジェクト × 阿賀野川 エコ ミュージアム
 シリーズ 地域再発見講座
 阿賀野川ものがたり
 第17・18回

 明治39年(小曲)~大正9年 持倉銅山 現在の製錬所跡	 明治10年(古河)~昭和48年 足尾銅山 小野崎一徳氏の孫 NPO法人足尾歴史館副理事長	 明治8年(古河)~大正3年 草倉銅山 草倉銅山の坑道跡
 昭和4年(鹿瀬工場)~ 昭和電工 現在の鹿瀬工場(現・新潟県和歌)	 大正期計画・昭和3年~ 鹿瀬ダム 現在の鹿瀬ダム	 阿賀野川上流域の近代産業を巡る光と影がテーママ

上記の現在の写真5枚はすべて山口冬人氏撮影

阿賀野川上流域の近代産業を巡る光と影がテーママ

これまで様々な講座を開催する中で、「阿賀野川上流域の近代産業を巡る光と影」というテーマが、参加者の関心が高いことがわかりました。折しもこの1~2年で、草倉銅山・持倉銅山・昭和電工株鹿瀬工場にまつわる貴重な史料が多数発掘されたことから、(草倉銅山と密接な関係がある)足尾銅山からも関係者を招き、2日間かけて今回の講座を開催することとなりました。大変貴重な機会となりますので、ぜひご参加ください！

なお、地元自治体である阿賀町も近年、こうした近代産業遺構を文化的・歴史的な観光資源や、様々な教訓を学べる環境教育の教材として活用しようという情報発信に注力していることから、今回講座は阿賀町とFM事業とで初めて共同して主催します。

第18回 **持倉銅山・鹿瀬ダム・昭和電工**
10/30(日) 集合・解散 道の駅「阿賀の里」駐車場
 9:40 ~ 16:00 定員●40名、参加費●1,000円

第17回 **草倉銅山・足尾銅山(講演会)**
10/29(土) 集合・解散 阿賀町公民館(鹿瀬支所隣)
 10:30 ~ 15:30 定員●40名、参加費●1,000円

主催: 新潟県・阿賀町・阿賀町教育委員会 後援: 新潟市・五泉市・阿賀野市 企画: 阿賀町教育委員会 一般社団法人 あがのがわ 環境学舎